帝京ロンドン学園高等部

二〇二二年度 入学試験問題

国語

第一問

次の、生物学者の福岡伸一と、保育士で作家でもあるブレイデイみかことの対談を読んで後の問い（問一〜六）に答えなさい。

福岡

ブレイデイさんは*パンクロックに憧れて高校卒業後に渡英し、低所得者が多い地域で保育士として働かれてきたそうですね。どんなとき多様性の大切さを感じますか。

ブレイデイ

①多様性の対極が分断だとよく言われますが、私は多様性と分断は隣り合わせだと思っています。英国でも、宗教やEU（欧州連合）離脱などでは意見が真っ二つに分かれる。でも同じ場にさえいけば、日常的に対立しながらも相手を理解し、落としどころを探る知恵も身につけていく。多様性の対極はむしろ、相手を知ろうとしない態度なんです。

福岡

それは、移民の姿も知らずに排斥しようとするような態度ということですね。

ブレイデイ

そうですね。英国ではEU離脱派が多い地域は住民の多様性が乏しく、ロンドンなど移民や外国人が多い都市部では残留派が強い。やはり自分と異なる他者のいる場に身を置くと、身体で理解することがあるんです。逆に、現実の姿を知らない「生活が厳しくなるのは移民のせいだ」と吹き込まれると、そう信じ込んでしまう。無知が原因で恐怖心がわきあがってくるのです。

福岡

昨夏、出版された『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』は、アイランド人のパートナーとの間に生まれた息子さんが、英国の中学で多様なル

ーツを持つ友達との交流や^Aヒンプ、差別などに直面しながら成長していく話です。その中で「なぜ多様性が大事なのか」と尋ねる息子さんに、ブレイデイさんは印象的な返答をします。

ブレイデイ 「うんざりするほど大変だし、めんどくさいけど、多様性は無知を減らす」と

息子には答えました。

福岡 本では「エンパシー」(empathy)という言葉 키워ドに語っています。

す。

ブレイデイ 息子が通う学校の期末試験で「エンパシーとは何か」に答えさせる問題が出た

んですね。私が辞書で調べたら、**【 A ありました。**

福岡 息子さんは試験用紙に「自分で誰かの靴を履いてみる」と書いた。いい答

えですね。

ブレイデイ エンパシーと似た言葉に「シンパシー」(sympathy)があり、どちらも

「共感」と訳されます。ただシンパシーは「かわいそう」や「共鳴する」とい

う感情の動きで、対象となるのは特定の人です。一方、エンパシーは、他者の

立場を想像して、理解しようとする自発的で知的な作業です。

福岡 ここ数年、日本で流行った「忖度(そんたく)」という言葉とは^Bタイシヨウ

ですね。相手の心を想像するのはエンパシーと同じでも、忖度は自分の身を守るためだけの利己的な行為と感じます。

ブレイデイ　そうですね。付度は、自分の利益のために行う防衛的な行為なのでしょう。日本社会に独特の同調圧力の強さにも関係しているような気がします。「共感」という言葉も日本で最近聞きますが、要するに「いいねボタン」ですよ。

福岡　同調圧力というと、思い出す瞬間があります。研究者を志して二〇代後半でニューヨークへ行き、職場に向かう朝、深く楽に呼吸している自分に初めて気づいた経験です。日本では、見えない同調圧力に知らず知らずがなじがらめだったんだ、と。

ブレイデイ　わかります。私も一九歳で初めて英国に旅して、小さなことだけど、誰もが気にせず自分が好きな服を自由に着ていて、「私も私自身でいられる！」と。それだけですごく解放感でした。

福岡　「銃・病原菌・鉄」や「文明崩壊」などの本で知られるジャレド・ダイアモンド博士と話したとき、こう言っていました。どの民族にも例えば「殺すな、盗むな、うそをつくな」という戒めは共通してあるけれど、【**B**】
という戒めを重視する民族は日本人だけである、と。

ブレイデイ　へえー、面白いですね。

福岡　誰もが日本語が分かって当然という均質的な社会なので、言外の意味を付度したり、空気を読んだりという圧力が生じてしまう。米国では、違う文化で生まれ育った人々が、十分でない英語で意思疎通しているため、言葉で表現したことで以外に気を回す余裕はないし、それを求められもしない。自分自身や自国の

文化を相対化する環境に身を置く経験は貴重ですね。

ブレイディ 「身を置く」っていい言葉。私は、エンパシーを働かせるためには土壌がいると思うんです。それは街で異なる人たちと実際に関わり合うこと。それが他者を想像するときの土台になる。ツイッターで頭の中だけの議論をするのはやめて、街に出ようよって思う。

福岡 「多様性」という言葉は一九八〇年代後半、生物の種（しゅ）の多様性が必要だという形で提唱され、次第に広まっていったのだと思います。

ブレイディ 先生のご「センモン」ですが、「生物多様性」はよく聞く言葉ですよ。

福岡 一般にはライオンとか象といった数多くの「種」が存在していることを示しますが、実はひとつの種の中に多様性が存在することも、その種が生き延びるために不可欠なんです。

ブレイディ それはどういうことでしょうか。

福岡 何百万年といった生物界の長い時間軸の中では、いつ突然、環境が激変するかわからない。そのとき、ひ弱そうな個体のほうが生き延びるかもしれないんです。種が生き残るためには、個体のバリエーションが豊富なほうがいいという多様性ですね。

ブレイディ すごくスケールが大きな話ですね。

福岡 アリには必ず二割程度、忙しいふりをしてサボっている個体があります。この二

割を取り除くと、残りの勤勉なアリの二割がまたサボりだす。天敵に攻められたときに戦うためとか、洪水の際に巣を直すためとか、いろんな説があるけどよくわからない。

ブレイデイ 面白いですね。人間という種にも、多様な存在の仕方があるほうが長い目では得なわけですね。

福岡 そうです。平たく言えば「変わり者」を多く内包している社会の方が実は強靱（きょうじん）だと示唆してくれます。でも生物学的には、人間ほど多様性に乏しい生き物はいません。人間は他の動物と比べ、遺伝子レベルでは非常に物質性の高い種です。肌の色や習慣、宗教などほんの小さな差異が大きな違いに見えるのは、逆に均質すぎるからなのです。

ブレイデイ それは知りませんでした。

福岡 「人種」という言葉がありますが、我々「ホモサピエンス」はどんな組み合わせの男女でも子どもを作れる完全均一な種です。でも仮に現在、ネアンデルタール人が生き残っていたとしても、彼らとは子どもができにくい。社会で少数派の彼らが差別される……なんてことがあったら、これが本当の「人種問題」ですよ。

ブレイデイ 今の人種の違いなんてどうでもよくなる、壮大な「人種問題」ですね。

福岡 もう一つ、^②人間は唯一、「産めよ増やせよ」という遺伝子のたくらみから脱出できた種なのです。

ブレイデイ 「遺伝子のたくらみ」って何ですか？

福岡 例えば、ある種の昆虫は卵を約四千個産みます。大半は死んでも、一、二匹生き残って種をつなげばOK。つまり、生物において「個体」は「種」の保存に奉仕するための道具でしかない。それが「遺伝子のたくらみ」です。しかし人間だけは、「個体」に価値があると考えた方がより豊かな社会を構築できると気づき、それを人類共通の価値にしようと約束した。それが基本的人権の起源だ
と思うんです。

ブレイデイ それなのに「個体同士」で争い合う歴史を繰り返しています。

福岡 不幸にも人間はつい群れたくなるんですね。そして、人種とか民族とか、国家といった階層を作りたがる。それゆえに争いごとが絶えないのです。

ブレイデイ 日本では、グローバリズム競争を勝ち残るためのツールとして「多様性」を標語のように掲げている企業も多いと聞きます。

福岡 そうですね。生物学における多様性は何百万年、何億年単位の話なので、人間の社会の多様性に目を戻すと、時間の射程が短すぎると感じます。その年の増収増益のためとか、一〇年後の世界市場でのシェアのためとか。

ブレイデイ G A F A（グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン）などのグローバル企業も、多種多様で優秀な人材をかき集めながら、世界中でサービスのDカク
イツカを進めていますよね。誰もがどこでも同じように情報発信や共有ができ、

どの国でも同じ味のコーヒーを飲めるようになった。しかし、結局は効率的に売り上げを最大化しているだけで、自分の利益のことしか考えていないんじゃないでしょうか。多様性とは真逆の方向に見えます。

福岡

私もそう思います。先端企業は「多様な人材でイノベーションを」と言いますが、真の多様性とは、違う者の共存を受け入れるという、言わば利他的な概念です。本質的には自己の利益や結果を求めるものではない。多様性は、利己性より利他性になじみがあると思います。

ブレイディ

そうですね。利他性を考えられるのは生物界では人間だけなのですか。

福岡

いや、食うか食われるかの生物の世界にも利他的な関係性が見えるんです。植物は自らが必要とする以上に葉を作って光合成をし、その落ち葉で微生物が増え、葉や木の実を食べて虫や鳥は命をつなぐ。もし植物が自己の必要量しか光合成をしなかったら、他の生物は存在できません。

ブレイディ

植物もそうなんですか。はたして人間には元来、利他的になれる力は備わっているのかな。「他人の靴を履いてみる」と言っても、「臭い靴」も「ダサイ靴」もある。考えたくもない人の立場に立って発想してみるって、すごく難しい。「他人の靴を履こう」とする力を人間は本来的に持っているものなのではないか。

福岡

持っていると思いますが、自ら学ぼうとしないと自分の利他性に気づけないんです。何も知らないままでは他者の立場を考えられない。偏見や強者の支配に

とらわれてしまいます。学ぶのは「自由」になるため。そして「自由」になれば、人間は「他人の靴を履く」こともできると思うんです。

ブレイディ 自由になって他人の靴を履くって、しみじみいい言葉だなあ。

福岡 山に登ると遠くまで見渡せるように、勉強すれば人の視界は広がる。すると、

お互いの自由も尊重し合う力を持てるようになります。現在はトランプ氏的な「公平さ・公正さより本音」といった流れが世界で強まり、Eハイジヨの論理が
大手を振って歩いています。人間は「種よりも個が大事」と約束した存在です。紆余曲折（うよきよくせつ）はあっても、いつか正気を取り戻し、個と個の違いをみんなに認め、共有していこう、という方向へ進み出しますよ。

ブレイディ そう願っています……いや、私は楽観的なので絶対そうなると思います。多様性ってというと人種や文化、*LGBTや社会階層など、属性の多様性に目が向きがちですが、実はアイデンティティは一つじゃない。いくつかの組み合わせで一人一人のユニークな「自分」ができている。その個人が尊重されること、^③これが多様性なんだと思います。日本の社会もそう変わっていけますか。

福岡 日本でもいやおうなく異質な存在と出合う場が増えていますし、少しずつですが、「個」を尊重する方向に向かっていると思います。

ブレイディ 私もそんな気がします。いま気づきましたが、先生も私も、二人ともかなり樂觀的なタイプなのかもしれませんね！

(朝日新聞の記事によるが、設問の都合で一部改変している)

〈語注〉

パンクロック……一九七〇年代半ばから後半にかけて音楽スタイルの一つ。

LGBT……性的少数者の総称の一つ。

問一

傍線部A「ヒンプ」 B「タイシヨウ」 C「センモン」 D「カクイツカ」 E「ハ

イジヨ」のカタカナをそれぞれ漢字で答えなさい。

9

問二

傍線部①「多様性の対極が分断だとよく言われますが、私は多様性と分断は隣り合わせだと思っています」について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1)「多様性」と「分断」は、どのような点で「対極」にあると考えられるか。三〇字以上

五〇字以内で説明しなさい。

(2)「多様性と分断は隣り合わせだ」とあるが、ブレイディみかこはこれはどういうことだと

と考えているか。二〇字以上三〇字以内で説明しなさい。

問三 前後の文章をふまえて、空欄【 A 】にあてはまる、辞書における「エン

パシー」の意味を答えなさい。なお、原文〔元の文章〕や辞書の語句と同じであるかどうかは問わない。

問四 前後の文章をふまえて、空欄【 B 】にあてはまる、「日本人だけが重視す

る戒め」を答えなさい。なお、原文〔元の文章〕と同じであるかどうかは問わない。

問五 傍線部②「人間は唯一、『産めよ増やせよ』という遺伝子のたくらみから脱出できた種

なのです」について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1)「遺伝子のたくらみ」とはどういうことか。「〜ということ。」に続く形で本文中より三

〇字以上三五字以内で抜き出し、その初めの五字を答えなさい。

(2)「人間」が「遺伝子のたくらみから脱出」することができたとはどういうことか。本文

中の語句を用いて二五字以上四〇字以内で説明しなさい。

問六

傍線部③「これが多様なんだと思います」とあるが、二人はそれぞれ、どのように

「多様性が重要である理由」を述べているか。この対談全体の内容をふまえて、それ

ぞれ二五字以上三五字以内で説明しなさい。

(1) 福岡伸一

(2) ブレイディみかこ

問題は以上です